

看護専門科目	基礎看護学					
看護学科	必修	2 単位	演習	平成30年度	前期	1 回生
科目名	日常生活を支える看護演習					
担当教員	◎三毛美恵子 小川 朋子 斎藤洋子 森嶋道子 森本茜 坂上和子					
目的	看護の対象の安全で安楽な日常生活を支えるために必要な看護技術の基礎的能力を養う。					
目標	1. 療養環境を調整できる。 2. 感染を予防するための技術（手洗いとマスク・ガウン・手袋着用）を基本に基づいて実施できる 3. 移乗・移送・輸送・歩行介助を基本に基づいて実施できる 4. 身体の清潔を保持するための援助技術（全身清拭・洗髪・足浴・口腔ケア）を基本に基づいて実施できる 5. ボディメカニクスを活用して看護技術を実践できる 6. バイタルサインの観察技術を用いて模擬患者の健康状態を評価できる					
他科目との関連	看護学概論 看護技術論 生きることを支える技術演習 体のしくみと疾病の成り立ち各科目 看護基盤実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート				0.3
	その他	技術チェック				0.7
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	①志自岐康子ほか「ナースンググラフィカ基礎看護学③」メディカ出版 ②志自岐康子ほか「ナースンググラフィカ基礎看護技術①」メディカ出版 ③ガーゼニア・ハンターズ「看護の基本となるもの」日本看護協会出版会 ④フロレンス・ナイチンゲール「看護覚え書き」現代社					
参考資料	適宜指示する					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	体のしくみと疾病のなりたちを復習し、身体の機能や構造を理解して受講すること。今後の看護専門科目の演習科目や実習科目で行う看護技術の基礎となる科目であるため、主体的に繰り返し自己学習を積み重ねること。					